

研究名：胚細胞腫に対する新規腫瘍マーカーの検討

1．研究の目的

胚細胞腫は小児の悪性腫瘍全体では 2.7%を占め、特に小児の脳腫瘍の中では 15.3%を占める悪性腫瘍です。症状としては成長率低下、思春期早発症以外に脳の下垂体というところに腫瘍ができると尿崩症をきたす場合があります。診断は血液検査や MRI などの画像検査を経て脳神経外科的に腫瘍検体を採取して病理検査で確定診断をします。この中で特に尿崩症について、バゾプレッシンという尿量をコントロールするホルモンの存在が示す脳下垂体の MRI 所見が消えることからバゾプレッシンを分解する酵素であるオキシトシナーゼに着目し、腫瘍の診断時と治療後でその推移をみることで新しい腫瘍マーカーになりうるか検討します。

2．研究の方法

対象者：当センターにて 2002 年から 2028 年 12 月までに胚細胞腫と診断された方。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2029 年 3 月末まで。

研究方法：診療録から病歴、身体所見、尿量などの症状、治療経過、検査所見（血清中ナトリウム、BUN、クレアチニン、浸透圧、PLAP 等の検査結果・病理検査結果）などの診療情報の調査と治療前後の保存血清および髄液検体でのオキシトシナーゼの測定を行います。病理標本を群馬大学に送って腫瘍組織のオキシトシナーゼの免疫染色を行うことで新しい腫瘍マーカーになりうるか検討する。

3．研究に用いる情報の種類

胚細胞腫と診断された方のカルテ番号を検索し、その方の診療録から、病歴・身体所見・経過・検査所見（血液検査・髄液検査・病理検査）等の情報を調べ、臨床検査で残った血清と髄液中のオキシトシナーゼとバゾプレッシンの濃度測定及び、病理検査で残った腫瘍組織を染色してオキシトシナーゼの発現の有無を調べます。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4．情報の公表

研究内容は学会や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 内分泌・代謝科および小児がんセンター
脳神経腫瘍科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2028年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 内分泌・代謝科 内木康博

国立成育医療研究センター 小児がんセンター 脳神経腫瘍科 寺島慶太

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線 内木：7287、寺島：7264）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 内分泌・代謝科 内木 康博